

上田市公文書館だより / 第4号

■公文書館から

●「暑さ寒さも彼岸まで」10月に入り公文書館周辺は秋の気配が深まってきました。新型コロナが未だ収まらない中、今度はインフルエンザが気になる季節の到来です。●今から百年ほど前、世界は「スペイン風邪」と呼ばれたインフルエンザのパンデミックに見まわれました。わが国も当時の人口5,660万人中2,380万人が感染したといわれています。●当館の収蔵資料からも当時の様子をうかがい知ることができます。上田市、武石村、浦里村、中塩田村の大正8年から10年頃の議会議事録には「流行性感冒」「悪性感冒」との名称で死亡者数が報告されています。大正8年の郡市長会議資料には「悪性感冒予防に関する件」として予防注射・隔離・消毒・マスク・うがい奨励・集会禁止等の指示が記されています。●インフルエンザの正体がよく分からなかった時代、この感染症に対応した先人らの苦労が伝わってきます。当館ではこれらの資料展を計画しています。(土屋)

■公文書館の催し

◎企画展示「旧役場文書から見る地域の歴史Ⅱ -大正13年別所線千曲川鉄橋補助ほか-」

- ・とき 9月10日(木)～11月29日(日) / ところ 公文書館1階ロビー
- ・展示説明会…10/30(金)と11/14(土) ①10時 ②11時 ③13時 ④14時
各回とも先着5人の予約制・10月21日(水)から申込み受付します



◎公文書館講座…12月10日(木)に開催の予定

- ・講師 上田東御小県地域史連絡協議会会長 小平 千文さん
- ・演題 上田市制のあゆみ ※募集の詳細は広報11月号に掲載します。

■公文書館のご案内



●住所&電話

〒386-0413

上田市東内 2564-1

TEL.0268-75-6682

FAX.0268-75-6683

●メール

kobunshokan@city.ueda.nagano.jp

●ホームページ

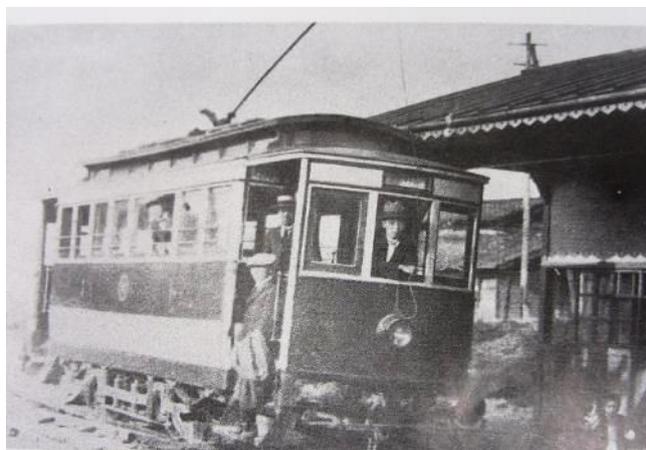
上田市ホームページ内

■公文書館所蔵資料の紹介

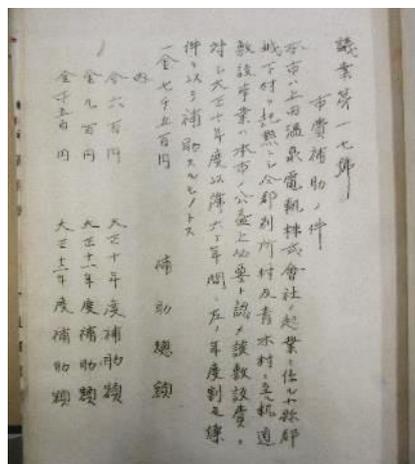
「別所線への補助」 議事関係書編冊（大正10年）から

◆大正10（1921）年2月の市議会『議事関係書編冊』には「市費補助の件」として、前年1月に設立された上田温泉電軌株式会社^{注1)}の起業に際し補助金を出すことが記されています。「城下村から別所村・青木村に至る軌道敷設事業は本市の公益上必要と認め、大正10年以降6年間に総額7,500円^{注2)}を補助する」としています。◆補助条件として、補助金はいかなる場合もこの額とする、県が補助金を減額した場合は市もその割合で減額する、期限までに完成しない場合は補助金を還納するなどが付されました。◆大正10年6月17日、上田温泉電軌(株)は三好町駅を起点に上田原駅を経て青木駅までの青木線、上田原駅から別所駅^{注3)}までの川西線^{注4)}を開通させ営業を開始しました。大正13年8月には千曲川鉄橋が完成しました。◆線路敷設と千曲川鉄橋の両工事は地域の大事業であり、上田市は大正13年2月の市議会に5年分割で総額4,800円^{注5)}を補助する旨提案し可決されています。千曲川鉄橋の完成で別所温泉と上田駅が結ばれ、観光振興が更に推進されました。（倉澤）

注1) 当初は上田温泉軌道株式会社、11月に社名変更、社長は小島大治郎 注2) 当時の1円＝現在の5,000円で換算すると約3,750万円 注3) 大正13年当初は信濃別所駅、昭和5年に別所温泉駅に改称 注4) 昭和14年に別所線に改称 注5) 現在の約2,400万円



上田温泉電軌川西線電車 ←



上田温泉電軌(株)補助議案 ←

■公文書館の利用

※公文書館は入場無料、郷土博物館展示室は有料（大人100円）



- 1 **資料検索:** 目録検索システムをご利用ください。
- 2 **閲覧申込:** 所定用紙でお申込みください。一度に5点まで申込みます。メールやファックスの申込みも可
- 3 **資料閲覧:** 個人情報審査終了後、館内の閲覧室でご覧ください。館外貸出は行いません。

※審査に時間を要する場合があります。個人情報が含まれる資料は閲覧できない場合があります。目録検索システムの利用・閲覧申込書ダウンロードは上田市ホームページ内の公文書館ページからどうぞ。